

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 6月 1日 更新

事務事業名		菊池広域連合消防本部運営事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	財津公正	
	施策	15	防災対策の推進				所属課	総務課	担当者名	白濱 裕	
	施策の柱	48	災害予防対策				所属班	交通防災班	(内線)	1213	
予算科目		会計一般	款9	項1	目1	事業連番10005	根拠法令	菊池広域連合規約			成果優先度評価結果 : ⑪ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池広域連合消防本部に対し、活動負担金を支出する事務である。 平成16年度に消防組合と菊池広域の消防署が合併し、菊池広域連合が誕生し、4市町（菊池市、合志市、菊陽町、大津町）で運営をしている。 平成16年度に合併し広域化を行ったので、広域連合管内の人口が増加した。また、更なる消防の広域合併の動きがある。
【業務の流れ】	・負担金の支払い事務
【主な予算費目】	・広域連合消防組合負担金
【意見や要望】	・特に聞いていない

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO) 管内2市2町による運営負担金により、本組織の円滑な運営を支援した。		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ・負担金の支払(分割)	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 負担金支払回数	回	・菊池広域連合消防負担金の増	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・菊池広域連合消防本部	箇所	→ ア: 消防本部数	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
・円滑に運営することができる。	%	→ ア: 年間主要事業の達成率	
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
・菊池広域連合消防本部運営事業の負担金であり、成果指標の菊池広域連合消防本部の年間主要事業の達成率とした。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア	回	4	4	4	4	4	4	4	4
	イ									
② 対象指標	ア	箇所	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	451,162	449,559	483,955	483,955	491,319	475,000	
	人件 費	(A) 事業費計	千円	451,162	449,559	483,955	483,955	491,319	475,000	0
		(A)のうち指定経費	千円	451,162	449,559	483,955	483,955	491,319	475,000	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	0	0	4	0	4	0	0
人件 費	延べ業務時間	時間	0	0	70	0	70	70	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	0	278	0	278	278	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	451,162	449,559	484,233	483,955	491,597	475,278	0

事務事業名	菊池広域連合消防本部運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・負担金を納入し円滑に運営することができる。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ・成果は毎年満たされているが、継続して取り組む必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・広域連合で計画的に策定された負担金の額であり、削減できない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・主に、負担金支払だけの事務を行っており、削減の余地がない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・常備消防力の強化は、市全体に関わることであり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・消防行政を目的として関係市町で設置した一部事務組合であり、適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

・請求に対して予算どおり執行できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							